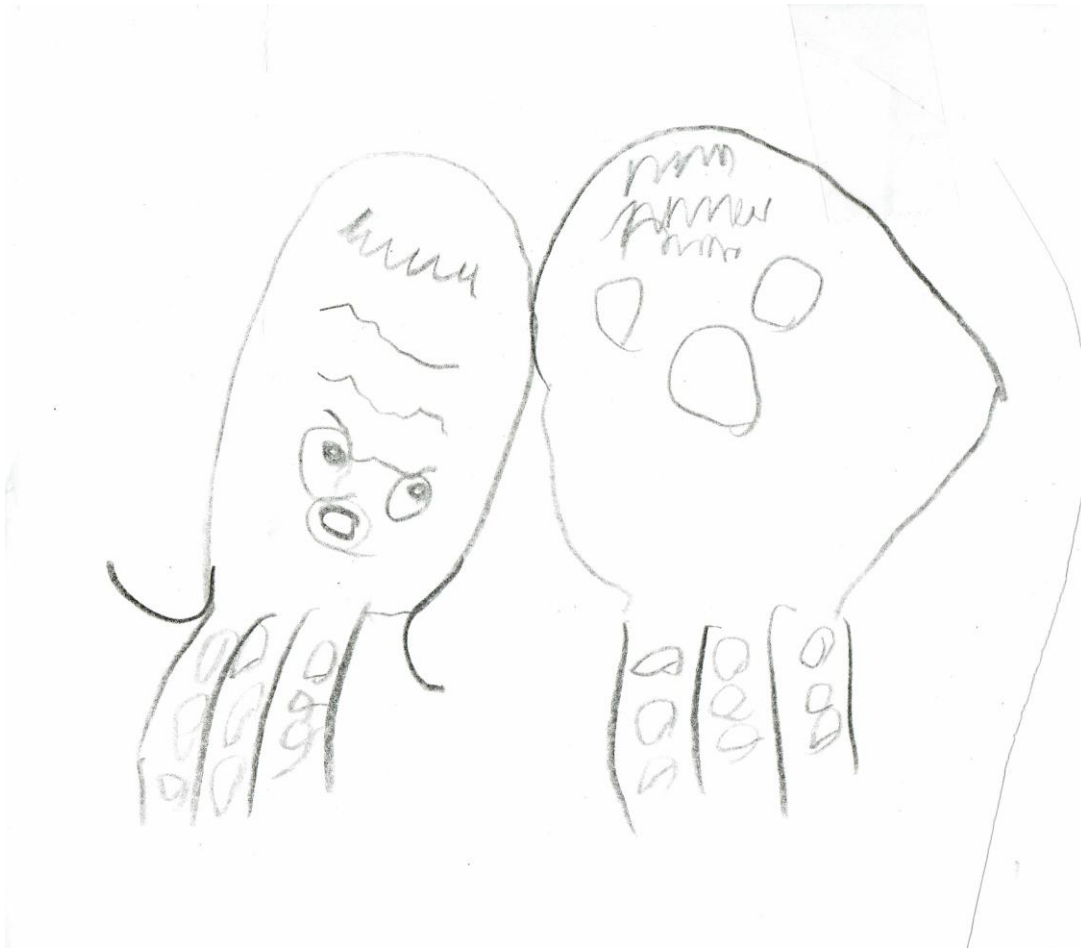


保育心理士研修・セラピー・zoom

2026年10月3日（土）セラピー

15:00～16:30



セラピーとは？

一般的には薬や手術などによらない心理療法や物理療法をいう。

物理療法とは、具体的には運動療法と言換えることも出来ます。今までは具体的にその場で動いたり、触り会ったりして感覚統合療法における基礎的な考えなど組してきました。ZOOMですが少しは、具体的な子どもを助ける動きもしてみましよう。

心理学、発達心理の歴史

18世紀に子どもの心、「子どもは何を考えているのか」を研究する運動がおこった。
18世紀に至ってそれが児童心理学 child psychology「子どもの心を理解する」になった。

18世紀後半に至って発達心理学 development psychology「子どもの認知発達を知る」になった。

ジョン・ロック（1632～1704年）17世紀の社会学者は言っていた。
「乳幼児は知識思考の不足した無能の存在」
「真っ白な布の様に、経験を積みかさね、認知も社会性も育ってゆく」

質問：あなたはこれをどう思いますか？

A:そういう事も言えます。私達の考えにこういう子ども観があると思います

B:それは全く違います。乳児は大人と違う価値観ですが、自分を取り巻く環境に関心も、
認識もある。

事例：この保育士の子どもに対する認識の中に 何がある。

ジャンジャック・ルソー（1712～1778）「子どもは小さい大人ではない」

「エミール」を発表

**架空の少年エミールが誕生から結婚まで成長する過程を5部構成で描き、
子どもの自然な発達を尊重する教育論を物語形式で示した1762年の古典的著作です。**

ジョンロックが子どもは、無能の存在と言っていた中で、ルソーは子どもは自然の中で身体を動かせと主張しました。子どもは生まれながら善良な本性がある。道徳や宗教は青年期になったからで良い。

質問：あなたはこれをどう思いますか？

A:どんなに小さくとも、道徳を教えなくてはいけない。事の善悪は教えなくてはいけない。

B:子どもの攻撃性などは、その子の心のありように原因があるので、そこを理解し紐とくことが必要



170年後エアーズが感覚統合理論を提案し、子どもの年齢に即した運動課題を提案しています。

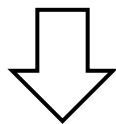
I、子供が主体の保育

どういふスタイルの保育がしたいか？

社会全体が使う言葉も、行為者主体へと大きく変化してきています。

- | | |
|------------|-------------------|
| ・ 社会教育センター | 生涯学習センター |
| ・ 慣らし保育 | 慣れ保育 |
| ・ 教授型授業 | アクティブラーニング（能動的学習） |
| ・ ピラミッド型組織 | サークル型組織（アップル社とか） |

世界の今の教育スタイルも17世紀（コメニウス）から約400年続いている、
が学校教育の教育スタイルは変わりつつあります。



何故でしょうか？

何が起きているのでしょうか？

「ダメ」 「いけません」 「やめなさい」

を言わない保育をしたくありませんか

日本の文化は否定の表現が基本になっている？

万博で「入室厳禁」英語で「keep out」（外にいて）
児童公園「夜間使用禁止」 「遊ぶのは昼間だけにしてください」
「駐車禁止」「火気厳禁」「使用禁止」 「・・・」禁止が好きな民俗文化？



変えるえるためには何を考えたらよいかな？

II：感覚統合理論

いわゆる五感：視覚 聴覚 臭覚 味覚 触覚

これらは外から身体の中に入ってくる感覚を表しています。

感覚統合では：聴覚 前庭覚 固有覚 触覚 視覚
身体の内側（脳内）で動く感覚を表している。

ドーマン法：運動（歩く）
言語（話す）
手を使う（書く）
視覚（文字を読む）
聴覚（聴いて理解する）
触覚（触れてた感触で理解する）

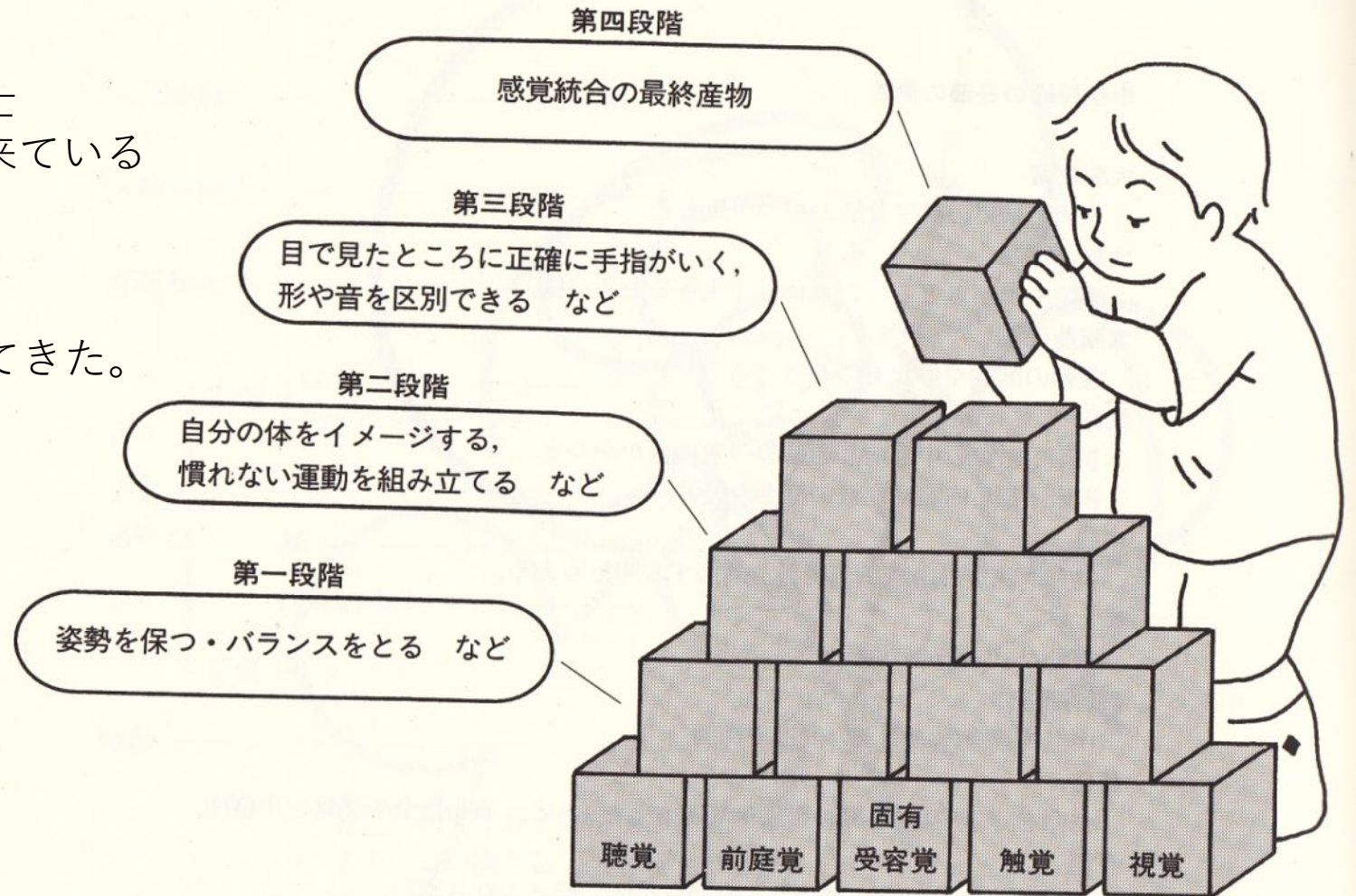


子ども自身は、自分を発達させるスキルを持っている。子どものすることでその子にとって意味のないことは無い。ただ我々がわからないだけ！

アメリカの学習障害児の作業療法士
エアーズ博士の理論を基にしている

日本には70年代ごろ紹介始められてきた。
現在も広く研究実践されています。

読み・書き・計算や抽象的な思考など、人間の高度な精神能力をビルの最上階に例えると、感覚統合は大切な基礎です。基礎工事なしではビルは建てられません。



前庭感覚(平衡感覚)

三種類の運動刺激

- ・ロッキング「前後・左右のゆれる動き」(ブランコ・赤ちゃんをあやす・等)
- ・ホッピング「重力加速」(滑り台・シーソー・トランポリン・跳び下り ・等)
- ・ローリング「回転加速」(回転球・コーヒーカーップ・等)

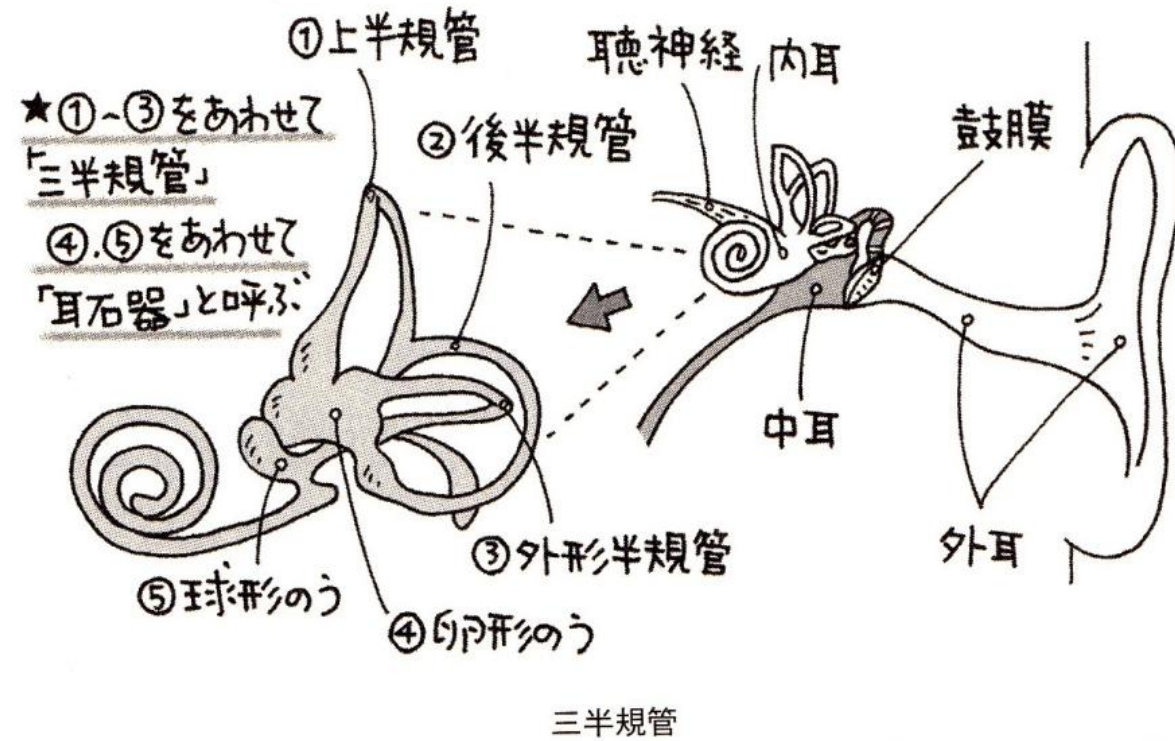
三種類の働き

眼球運動の調整

自律神経の働きとそれに関連する情緒・情動との関係

姿勢調整の働き

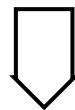
前庭感覚の受容器（センサー）はどこにある？



スポーツ振興センターの報告

中学：1972年約 6 %→2010年約 21 %

幼児：1972年約 2 %→2010年約 3 %



幼児期の怪我を減らすために、運動練習
を規制するためか？
保育園から消えた遊具：ブランコ・ジャン
グルジム・登り棒・雲梯・等

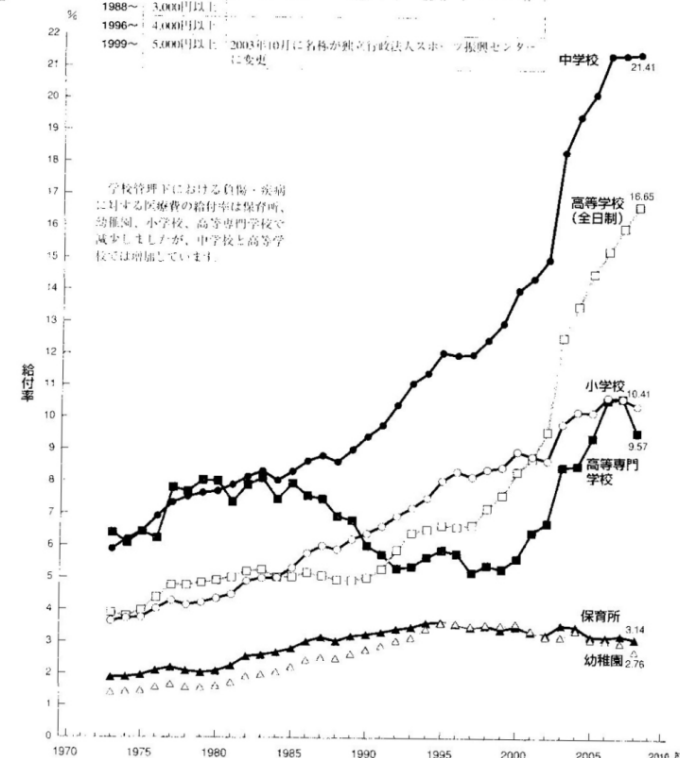
2015年 小学校入学の準備してほしい学校の要求に

「学校まで歩いて登校できるようになってほしい」
「ランドセルを自分で背負って」

14 学校災害（負傷・疾病） School disaster (injury and disease)

▼14-2：医療費の給付条件

年度	給付条件	備 考
1959～	100円以上	日本学校安全法ができる
1969～	500円以上	
1978～	2,500円以上	1982年に名称が日本学校健康会に変更 1986年に名称が日本体育・学校健康センターに変更
1988～	3,000円以上	
1996～	4,000円以上	
1999～	5,000円以上	2003年10月に名称が独立行政法人スポーツ振興センターに変更



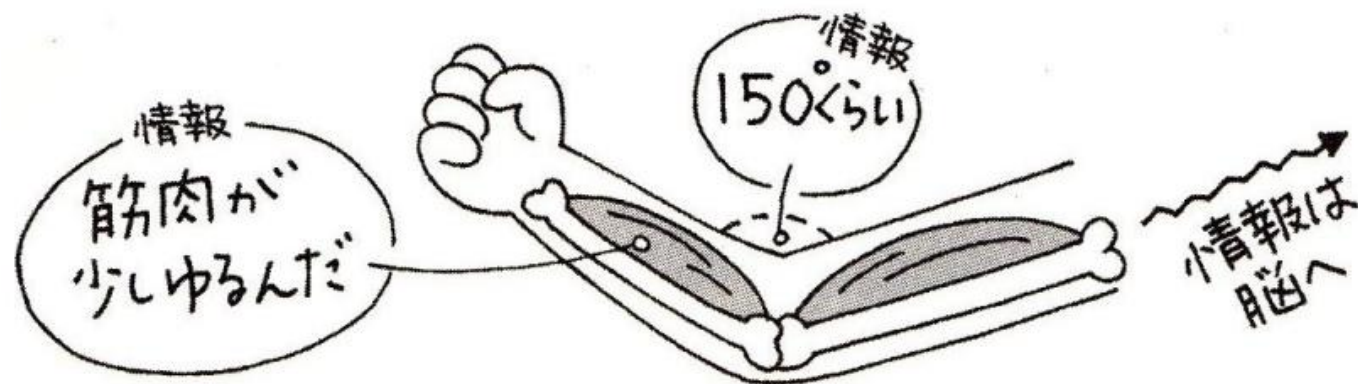
▲14-1：負傷・疾病の給付率の推移状況
(独立行政法人日本スポーツ振興センター平成21年度「学校安全・災害給付ガイド」より)

固有感覚

- 不器用で乱暴なしぐさが気になる。
- 牛乳等こぼさないで注ぐのが難しく、すぐこぼしてしまう。
- 声が大きく、小さい声で話すのが難しい。
- つま先歩きの様にチョコチョコした歩き方で歩く。

固有感覚のセンサーはどこにある？

ヒトの身体は 108×2 個の骨で成り立っている。
それらの多くの骨は関節を作って、靱帯で筋肉と骨をつないでいる。
センサーはその筋肉・関節・腱の中にある。それらの伸び具合等の
四肢の状態を把握するために必要な感覚。

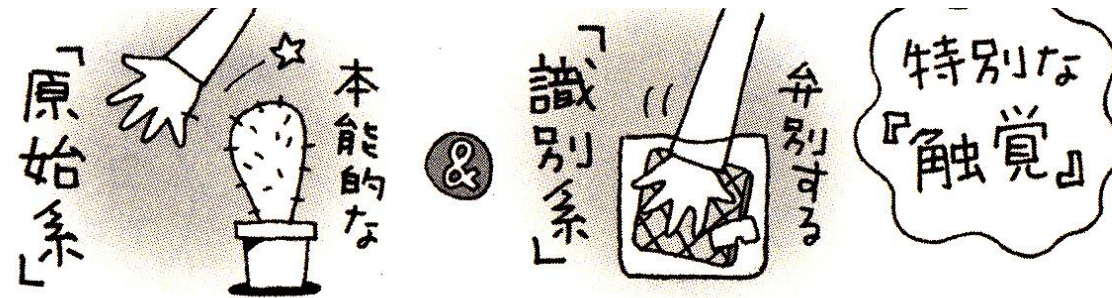


固有覚——筋肉の張力や関節の角度がわかる

触覚の二種類の機能

原始系：警戒行動 防衛・逃避行動 「食うか食われるか」
刺激の強さと刺激をどう使うかによって感じ方に差
がある

識別系：知的な情報処理
能動的に注意を向けてする。



触覚

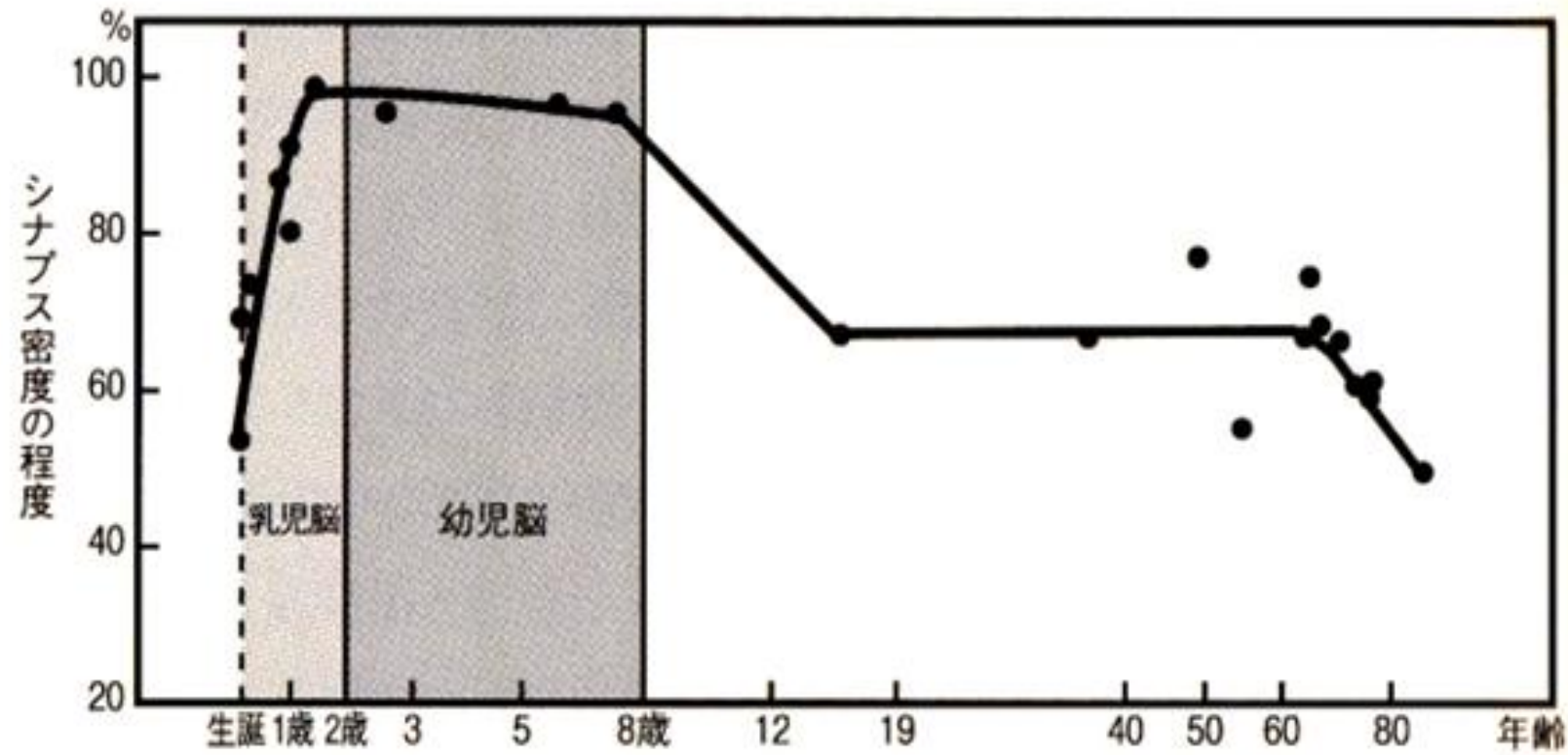
- 手先が不器用で粘土や片栗粉、指絵の具等激しく怖がり、触れようとしない。
- 友達が近づくと反射的に押したり、突き飛ばしたりするがどうしてか。

視覚

& 聴覚は省きます

III、脳のわかってきた成熟過程

●●● シナプス量の増減と脳の発達過程の関係 ●●●



脳の高度な機能はニューロンがになっている

ヒトの脳の中には1000億のニューロン（神経細胞）があるといわれる。ニューロンには、体のほかの細胞とは大きく異なる特徴がある。ニューロンの本体「細胞体」から細長い突起が何本も出ている点だ。ニューロンはこの突起を使ってほかのニューロンと接続し、信号をやり取りしている。

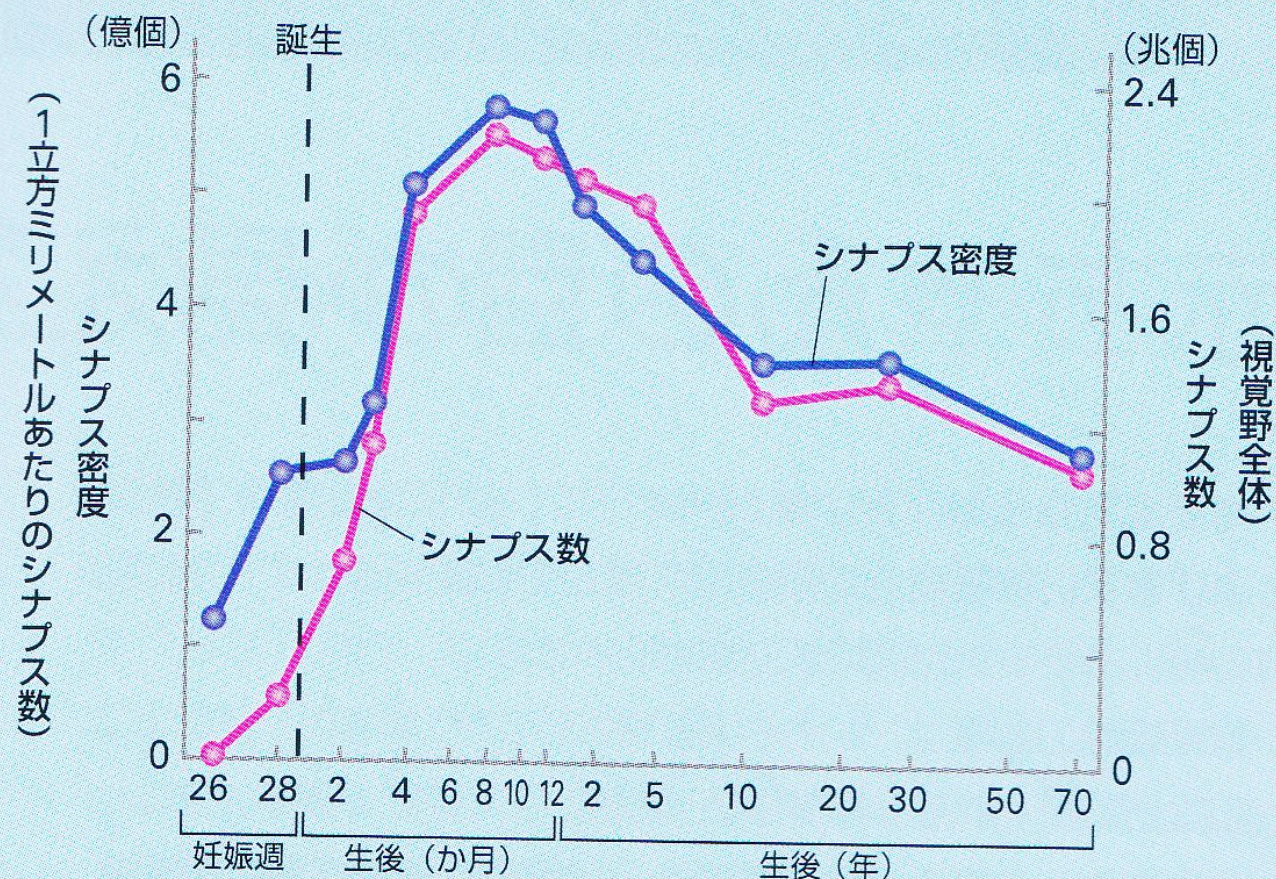
突起は2種類ある。信号の送り手となる「軸索」と、信号の受け手となる「樹状突起」だ。軸索は一つのニューロンに1本しかなく、また樹状突起にくらべて細く長い場合が多い。細胞体から出た1本の軸索は、時に枝分かれしながらほかのニューロンの樹状突起につながる。このつなぎ目は「シナプス」とよばれている。



脳細胞をつなぐラインのネットワークが増える。
そのつなぎ目をシナプスという。シナプスの数
が増えるのが2歳までです。



ヒト視覚野のシナプス密度とシナプス数の年齢による変化



ヒトの視覚にかかわる脳の部位である「視覚野」では、シナプス数、シナプス密度ともに、生後約8か月あたりがピークであり、その後は減少する一方であることがわかる。この時期に、「シナプスの刈りこみ」が行われていると考えられている。(出典：Huttenlocher PR, 『Neurosci Lett』 33:247-252, 1982)

1, 同じことでもネガティブな表現から、ポジティブな表現に変える練習を試みる。

